

6. グラフで見る2014年のデータ

2014年診断症例の集計

1. 登録と同一腫瘍判定

(1) 登録対象

広島県内の医療機関において、病理診断され、国際疾病分類腫瘍学第3版（ICD-O-3）で定義されている腫瘍および広島県腫瘍登録で独自に登録している腫瘍¹。腫瘍の性状は問わない。

(2) 同一腫瘍の判定（代表診）

同一人物の同一腫瘍について、複数の届出（生検・手術、多発）があった場合は、広島県腫瘍登録における重複登録の整理基準¹に則り、病理医が同一腫瘍かどうかを判定し、またその代表的な診断名を決定している。必要があれば、病理診断依頼箋および診断書の確認、標本の検鏡を行い、同一腫瘍かを判定する。

2. 集計対象と集計方法

(1) 集計対象

広島県内の医療機関において、腫瘍として病理診断され、広島県腫瘍登録に2014年に新規に登録された原発性腫瘍。

(2) 集計方法

2014年に新規に登録された症例について、性状、性、部位、二次保健医療圏別に登録数、登録割合、年齢調整登録率（以下、登録率という）を集計した。腫瘍の部位は、良性腫瘍はICD-O-3局在別、悪性腫瘍は死亡統計と比較可能性を考慮し、国際疾病分類第10版（ICD10）に変換して集計した。性状不詳、上皮内がんは悪性腫瘍に含めた。採取部位が転移腫瘍であった腫瘍は、当該腫瘍の原発部位に基づいて集計し、採取部位が原発腫瘍か転移腫瘍か診断が不明であった腫瘍は、原発部位不明として集計した。性状が、悪性か否か診断がつかず、悪性疑いとして登録された症例（疑診症例）は、解析対象から除外した。集計対象の診断時住所は問わないが、二次保健医療圏別の解析では、広島県外住所および住所不明の症例は除外した。

登録率（人口10万対）の算出には、（公財）放射線影響研究所で昭和50年（1975）～平成22年（2010）の5年ごとの国勢調査人口（総人口）を用いて、二次保健医療圏別に性別、同一年齢階級において外挿して求めた人口を用いた。年齢不詳人口については考慮していない。年齢調整には1985年日本モデル人口を用いた。

登録精度の指標として二次保健医療圏別にI/M（Incidence/Mortality）比を算出した。I/M比は罹患数を死亡数で除したものであり、地域がん登録（臨床登録）において登録精度（カバー率）の指標として用いられる。ここでは、罹患数を広島県腫瘍登録の登録数に置きかえて、「登録数／死亡数比」をI/M比として考え、参考値として算出した。国立がん研究センターが報告しているMCIJ2013（Monitoring of Cancer Incidence in Japan）では、登録精度

管理の指標として2段階の精度基準を設定しており、より高精度の精度基準 A では I/M 比が 2.0 以上、従来の精度基準 B では 1.5 以上としている²。

3. 結果

(1) 良性腫瘍の部位別登録数と登録割合

男性の良性腫瘍の登録数は7,687例であり、その中で最も多かったのは結腸4,907例(63.8%)で、次いで結合組織・軟部組織530例(6.9%)、皮膚527例(6.9%)、直腸501例(6.5%)、胃477例(6.2%)であり、結腸と直腸で良性腫瘍の70.4%を占めていた。(図1-1、表1-1)

女性の良性腫瘍の登録数は8,541例であり、その中で最も多かったのは結腸2,994例(35.1%)で、次いで子宮体部1,495例(17.5%)、皮膚884例(10.4%)、卵巣746例(8.7%)、結合組織・軟部組織526例(6.2%)であった。直腸は316例(3.7%)であり、結腸と直腸で良性腫瘍の38.8%を占めていた。(図1-2、表1-2)

(2) 悪性腫瘍の部位別登録数と登録割合

男性の悪性腫瘍の登録数は12,220例であり、その中で最も多かったのは胃2,249例(18.4%)であり、次いで結腸1,929例(15.8%)、前立腺1,748例(14.3%)、肺1,209例(9.9%)、直腸943例(7.7%)であった。結腸と直腸を合わせた大腸がんの登録数は2,872例(23.5%)で、胃よりも多かった。(図2-1、表2-1)

女性の悪性腫瘍の登録数は9,354例であり、その中で最も多かったのは乳房2,049例(21.9%)であり、次いで結腸1,398例(14.9%)、胃1,112例(11.9%)、子宮頸部654例(7.0%)、肺622例(6.6%)、直腸513例(5.5%)であった。結腸と直腸を合わせた大腸がんの登録数は1,911例(20.4%)で2006年までは最も多かったが、2007年以降は乳がんが最も多くなっている。(図2-2、表2-2)

(3) 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の登録数・登録率(人口10万対)(図3-1、3-2、3-3、表3-1、3-2)

二次保健医療圏別に登録数をみると、男性では広島が5,638例で最も多く、次いで呉1,537例、福山・府中1,501例、尾三1,107例、広島中央720例、広島西688例、備北494例であった。医療圏不明は49例(全体の0.4%)で、昨年(2006年)の医療圏不明割合(0.5%)とほぼ同じであった。女性では、広島が4,363例で最も多く、次いで福山・府中1,205例、呉1,067例、尾三829例、広島中央545例、広島西472例、備北425例だった。医療圏不明は33例(0.4%)で、男性と同様に昨年とほぼ同じであった。

二次保健医療圏別の登録率(人口10万対)は、男性では呉が572.5で最も高く、次いで広島521.8、備北512.9と続いていた。福山・府中は329.0と他の圏域よりも低かった。女性では、備北、呉、広島が400以上、広島西、広島中央、尾三が350前後、福山・府中が283.6と低くなっていた。

福山・府中圏域では、2010年まで多数の症例を登録している施設からの病理診断報告書に住所の記載がなく、その登録症例が医療圏不明として取り扱われたため、登録率が見かけ上低くなっていた。その後、2011年診断症例よりその施設から住所が記載されるようになり、この問題は解消した。福山・府中圏域の悪性腫瘍死亡率は、他の圏域と同程度である。住所不明の問題が解消されたにも関わらず登録率が低いのは、他県で受診することによって症例が登録されていない可能性が考えられる。今後、検討が必要である。

4. 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の登録精度（I/M比）

I/M比を二次保健医療圏別にみると、男性では広島、広島西、呉、広島中央、備北で2以上、尾三で1.9であったのに対し、福山・府中では1.6と若干低かったものの、全ての医療圏で1.5以上を達成していた。女性ではすべての二次保健医療圏においてI/M比が2以上であり、登録精度は良好であった。（表4）

5. 悪性腫瘍の部位別死亡者数と死亡割合

広島県における男性の悪性腫瘍死亡数は4,924人で、肺が1,170人（23.8%）と最も多く、次いで胃694人（14.1%）、肝臓580人（11.8%）であった。（図5-1、表5-1）

女性の悪性腫瘍死亡数は3,424人で、肺が465人（13.6%）で最も多く、次いで胃421人（12.3%）、膵臓367人（10.7%）であった。結腸と直腸を合わせた大腸がんの死亡数は473人（13.8%）で、胃を上回っていた。（図5-2、表5-2）

6. 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数・死亡率（人口10万対、1985年日本モデル人口で調整）

二次保健医療圏別悪性腫瘍死亡数は、男性では広島が最も多く2,005人、次いで福山・府中944人、呉604人、尾三570人、広島中央331人、備北236人、広島西234人であった。死亡率を二次保健医療圏別にみると、呉192.9が最も高く、次いで備北186.6、福山・府中176.6、尾三174.8、広島164.2、広島西156.4、広島中央153.5であった。備北では胃がんの死亡率が最も高く、それ以外の二次保健医療圏では肺がんの死亡率が最も高かった。（図6-1、6-2、表6-1）

女性の二次保健医療圏別悪性腫瘍死亡数は広島が最も多く1,472人、次いで福山・府中611人、尾三390人、呉373人、広島中央227人、広島西178人、備北173人であった。死亡率は、二次保健医療圏別にみると、呉が最も高く88.2、次いで福山・府中が87.8、広島87.2、広島西85.5、尾三85.1、広島中央75.1、備北73.5であった。部位別には、広島、広島中央、尾三で肺がんの死亡率が最も高く、広島西は同率で胃がん膵臓がん、呉では胃がん、福山・府中では乳房、備北では肝臓の死亡率が最も高かった。広島と福山・府中では、結腸と直腸を合わせた大腸がんの死亡率が他のがんを上回り最も高くなっていた。（図6-1、6-3、表6-2）

7. (参考) 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数・死亡率(人口10万対、1985年日本人モデル人口で調整)

広島県における悪性腫瘍死亡数は男性4,901人、女性3,394人、合計8,295人であった。悪性腫瘍死亡率(人口10万対)は、男性では全国が168.9に対し広島県は170.4と同程度であった。女性では全国が89.4に対し広島県は86.8で全国のがん死亡率より若干低かった。主要部位別にみると、男性、女性ともに肝臓がんの死亡率が全国よりも高かった。(表7-1、7-2)

8. (参考) 悪性腫瘍の主要部位別登録数・登録割合の経年変化(1993~2014年)

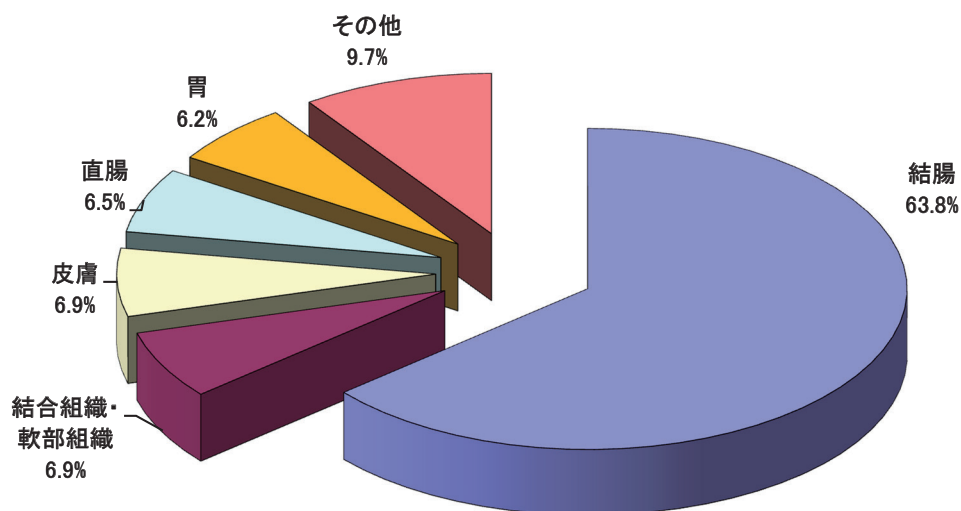
男性の悪性腫瘍登録数は、1993年の5,919例から2014年の12,220例と増加していた。全期間を通して胃がんが最も多く年間1,800例前後であったが、2007年以降にさらに増加傾向となり、2012年には2,307例になり、2014年には2,249例と若干減少していた。次いで、結腸がんは2005年頃まで年間1,300例前後であったが、その後増加し、2013年には1,989例となった。前立腺がんは1993年に300例だったが、その後増加し始め、2003年から2008年までは約1,200例で推移、2009年から再び増加、2010年と2011年には結腸がんを上回り、2014年には1,748例になった。また肺がん、直腸がん、膀胱がんも登録数が増加傾向である。結腸と直腸を合わせた大腸がんの登録数は、概ね胃がんを上回り、増加傾向である。全体に占める割合は、胃がんは約30%から約20%に低下していた。前立腺がんが1993年の5.1%から2010年には14.4%と増加、その後同程度で推移しており、登録数全体に対する割合が2000年以降大きく増加していた。(図8-1、8-2、表8-1)

女性の悪性腫瘍登録数は、1993年の4,645例から2014年の9,354例と増加していた。1993年から1997年までは胃がんが最も多く、1997年から2002年までは胃がん、結腸がん、乳がんが年間800例から900例と同程度であった。2004年以降は、乳がんの登録数が急激に増加し、2004年から2012年までで約2倍(2,019例)になった。2013年は1,945例と減少したが2014年は2,049例と再び増加した。肺がんは1997年までは200例以下であったが、2000年以降の増加が著しく、2012年には591例で、約2倍になっていた。子宮頸がん、甲状腺がんも2005年以降に徐々に増加傾向が見られる。結腸と直腸を合わせた大腸がんの登録数が最も多かったのは、1993年から2006年までであり、その後は乳がんにとってかわられた。全体に占める割合は、大腸がんは概ね20%程度で推移しているが、ここ数年は増加がみられる。乳がんは1993年の15.6%から2012年には22.9%に増加していた。胃がんの登録割合は1993年の18.7%から2013年には10.9%まで低下していた。(図8-3、8-4、表8-2)

参考文献

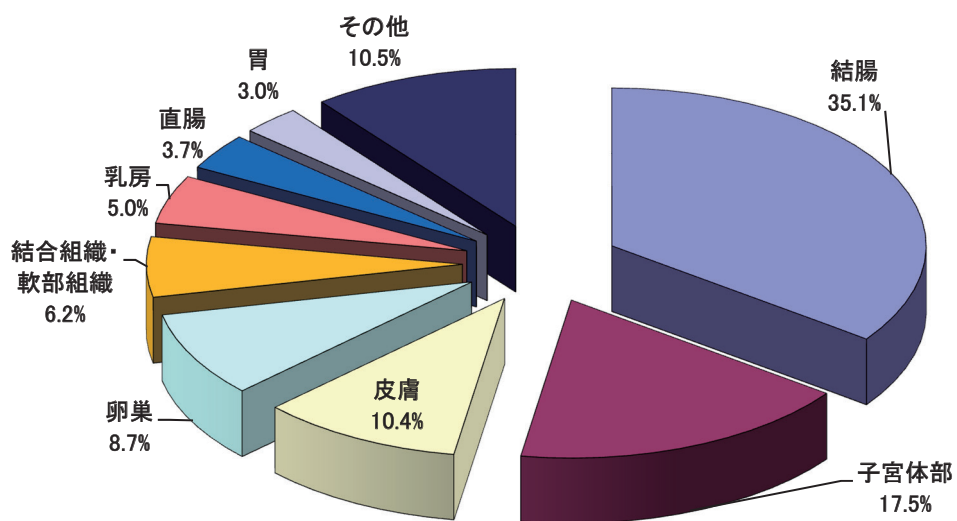
1. 広島県腫瘍登録委員会. ICD-Oによるコーディングの手引き. 2017年12月改訂
2. 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター. 西本寛, 松田智大, 柴田亜希子, 堀芽久美編. 2017. 全国がん罹患モニタリング集計 Monitoring of Cancer Incidence in Japan, MCIJ2013年罹患数・率報告.

1. 良性腫瘍の部位別登録数・登録割合



(登録数 7,687例)

図1-1 良性腫瘍の部位別登録割合 (男性、2014年)



(登録数 8,541例)

図1-2 良性腫瘍の部位別登録割合 (女性、2014年)

表 1-1 良性腫瘍の部位別登録数・登録割合（男性、2014年）

	登録数	割合（%）
結 腸	4,907	63.8
結合組織・軟部組織	530	6.9
皮 膚	527	6.9
直 腸	501	6.5
胃	477	6.2
そ の 他	745	9.7
大 腸（再 掲）	5,408	70.4
合 計	7,687	100.0

表 1-2 良性腫瘍の部位別登録数・登録割合（女性、2014年）

	登録数	割合（%）
結 腸	2,994	35.1
子 宮 体 部	1,495	17.5
皮 膚	884	10.4
卵 巣	746	8.7
結合組織・軟部組織	526	6.2
乳 房	425	5.0
直 腸	316	3.7
胃	255	3.0
そ の 他	900	10.5
大 腸（再 掲）	3,310	38.8
合 計	8,541	100.0

2. 悪性腫瘍の部位別登録数・登録割合

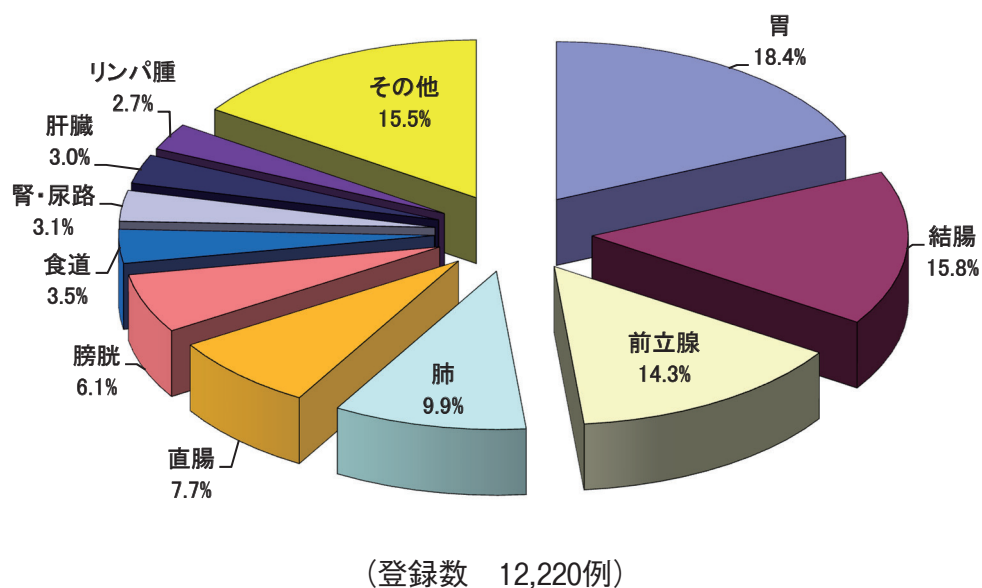


図 2-1 悪性腫瘍の部位別登録割合 (男性、2014年)

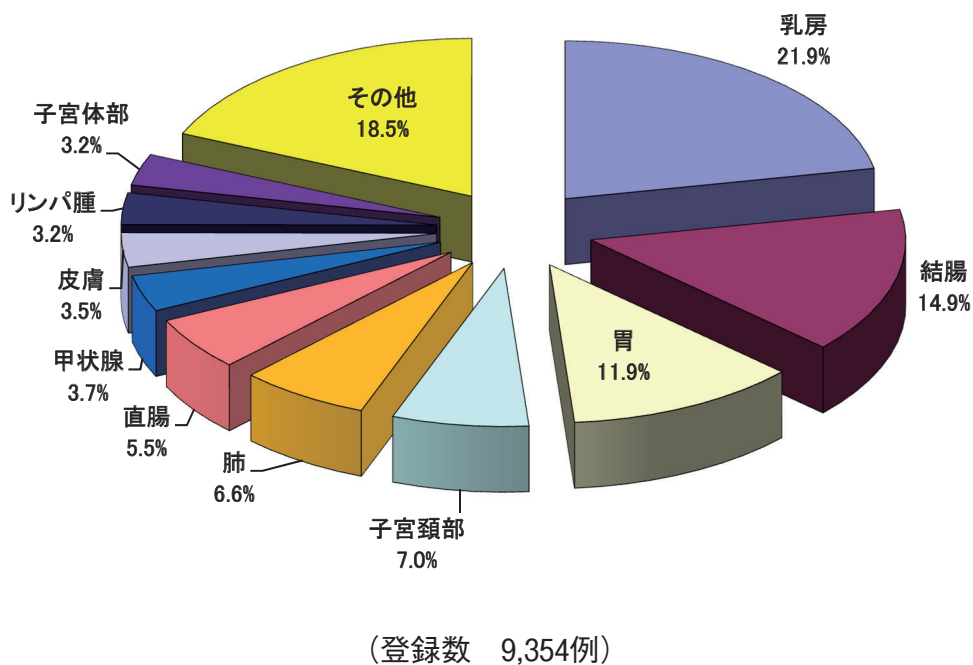


図 2-2 悪性腫瘍の部位別登録割合 (女性、2014年)

表 2-1 悪性腫瘍の部位別登録数・登録割合（男性、2014年）

	登録数	割合 (%)
胃	2,249	18.4
結腸	1,929	15.8
前立腺	1,748	14.3
肺	1,209	9.9
直腸	943	7.7
膀胱	740	6.1
食道	422	3.5
腎・尿路	383	3.1
肝臓	364	3.0
リンパ腫**	334	2.7
その他	1,899	15.5
大腸（再掲）	2,872	23.5
合計	12,220	100.0

表 2-2 悪性腫瘍の部位別登録数・登録割合（女性、2014年）

	登録数	割合 (%)
乳房	2,049	21.9
結腸	1,398	14.9
胃	1,112	11.9
子宮頸部	654	7.0
肺	622	6.6
直腸	513	5.5
甲状腺	346	3.7
皮膚*	327	3.5
リンパ腫**	302	3.2
子宮体部	301	3.2
その他	1,730	18.5
大腸（再掲）	1,911	20.4
合計	9,354	100.0

* 悪性黒色腫は含まない

** 白血病は含まない

3. 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数・登録率 (人口10万対、1985年日本モデル人口で調整)

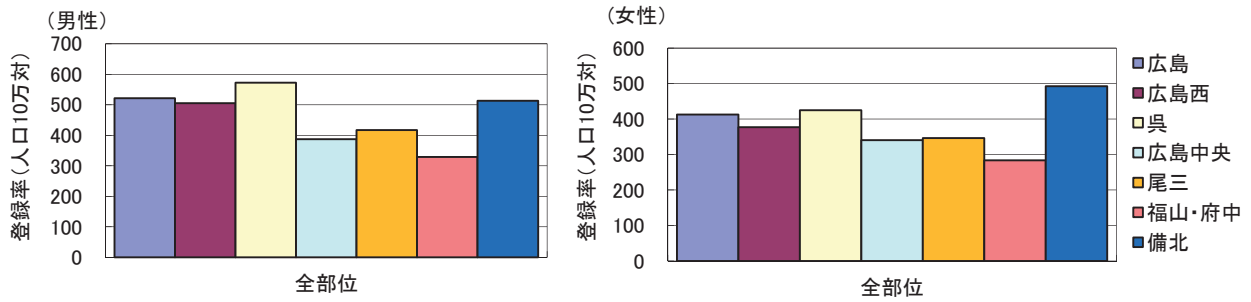


図 3-1 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍全部位の登録率

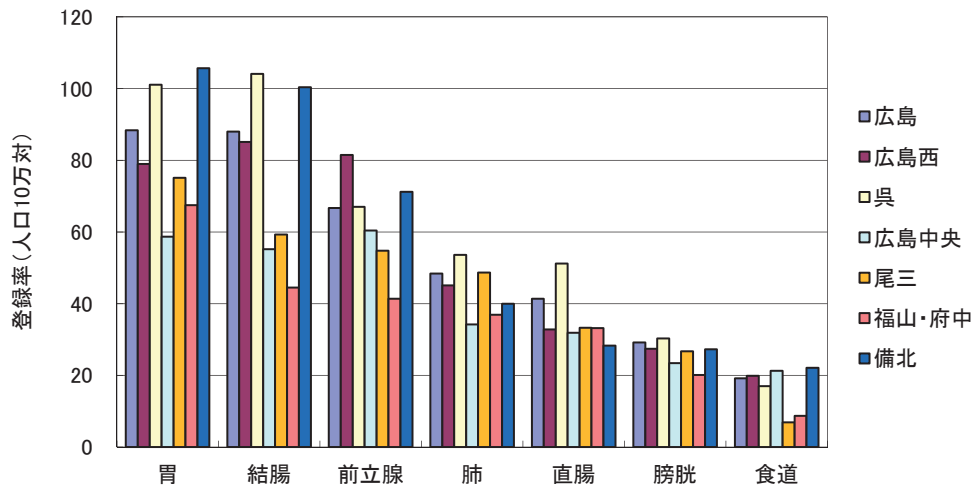


図 3-2 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の登録率 (男性、2014年)

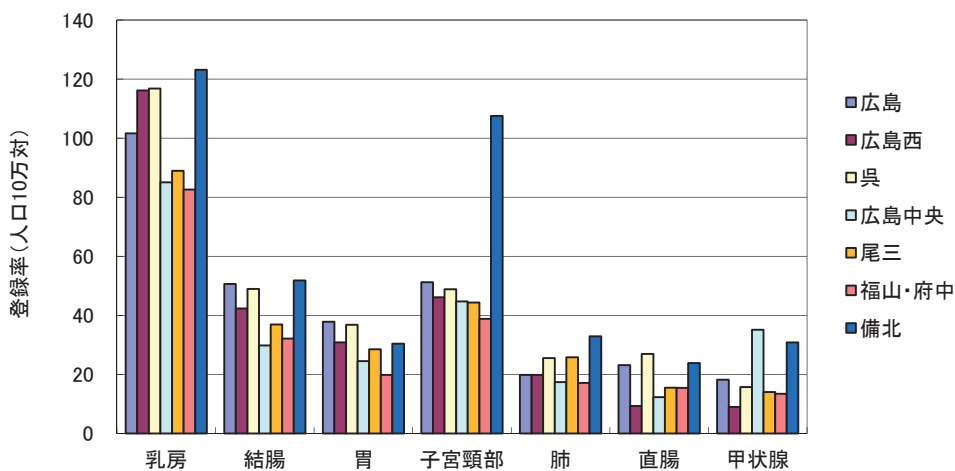


図 3-3 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の登録率 (女性、2014年)

表3-1 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数・登録率 男性（人口10万対）

医療圏 部 位	登 録 数（登録率）						
	広 島	広島西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
胃	1,006 (88.4)	105 (79.0)	287 (101.1)	113 (58.7)	201 (75.1)	318 (67.5)	111 (105.7)
結 腸	941 (88.0)	118 (85.1)	270 (104.1)	98 (55.2)	150 (59.3)	204 (44.5)	85 (100.4)
前 立 腺	780 (66.7)	122 (81.5)	213 (67.0)	122 (60.4)	166 (54.8)	216 (41.4)	74 (71.2)
肺	515 (48.4)	63 (45.1)	153 (53.6)	64 (34.2)	131 (48.7)	176 (36.9)	45 (40.0)
直 腸	437 (41.4)	46 (32.8)	129 (51.2)	54 (31.9)	76 (33.3)	142 (33.2)	24 (28.3)
膀 胱	328 (29.2)	46 (27.4)	87 (30.3)	51 (23.4)	80 (26.7)	93 (20.1)	32 (27.3)
食 道	209 (19.2)	25 (19.9)	50 (17.0)	37 (21.3)	19 (6.9)	41 (8.7)	17 (22.1)
そ の 他	1,422 (140.5)	163 (134.4)	348 (148.1)	181 (102.2)	284 (112.3)	311 (76.6)	106 (117.9)
大 腸 (再掲)	1,378 (129.4)	164 (117.9)	399 (155.4)	152 (87.1)	226 (92.6)	346 (77.7)	109 (128.7)
合 計	5,638 (521.8)	688 (505.3)	1,537 (572.5)	720 (387.4)	1,107 (417.1)	1,501 (329.0)	494 (512.9)

医療圏不明49例 県外486例

表3-2 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数・登録率 女性（人口10万対）

医療圏 部 位	登 録 数（登録率）						
	広 島	広島西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
乳 房	930 (101.6)	115 (116.1)	233 (116.8)	120 (85.0)	175 (88.9)	299 (82.6)	79 (123.1)
結 腸	659 (50.6)	75 (42.3)	184 (48.9)	61 (29.8)	118 (36.9)	181 (32.1)	73 (51.8)
胃	509 (37.8)	57 (30.8)	138 (36.8)	51 (24.5)	109 (28.5)	132 (19.8)	59 (30.4)
子宮頸部	337 (51.2)	28 (46.1)	47 (48.8)	48 (44.7)	50 (44.3)	81 (38.8)	39 (107.5)
肺	259 (19.8)	26 (19.8)	77 (25.5)	32 (17.4)	74 (25.8)	85 (17.1)	39 (32.9)
直 腸	247 (23.1)	17 (9.3)	68 (26.9)	28 (12.3)	42 (15.5)	75 (15.4)	19 (23.8)
甲 状 腺	159 (18.2)	10 (9.0)	25 (15.7)	43 (35.1)	25 (14.0)	48 (13.4)	17 (30.8)
そ の 他	1,263 (110.5)	144 (103.6)	295 (105.4)	162 (91.9)	236 (92.3)	304 (64.3)	100 (92.4)
大 腸 (再掲)	906 (73.8)	92 (51.6)	252 (75.8)	89 (42.0)	160 (52.4)	256 (47.5)	92 (75.7)
合 計	4,363 (412.8)	472 (376.9)	1,067 (424.8)	545 (340.6)	829 (346.3)	1,205 (283.6)	425 (492.7)

医療圏不明33例 県外415例

注) 登録率は人口10万対、1985年日本モデル人口で調整

4. 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の登録精度（I/M比）

表4 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の登録精度

	男 性			女 性		
	登録数	死亡数	I/M 比	登録数	死亡数	I/M 比
広島県全体	11,734	4,924	2.4	8,939	3,424	2.6
広 島	5,638	2,005	2.8	4,363	1,472	3.0
広 島 西	688	234	2.9	472	178	2.7
呉	1,537	604	2.5	1,067	373	2.9
広 島 中 央	720	331	2.2	545	227	2.4
尾 三	1,107	570	1.9	829	390	2.1
福山・府中	1,501	944	1.6	1,205	611	2.0
備 北	494	236	2.1	425	173	2.5

注1) 広島県外住所のものは除く

注2) 医療圏不明があるために、圏域別登録数の合計は県全体と一致しない

5. 悪性腫瘍の部位別死亡者数・死亡割合

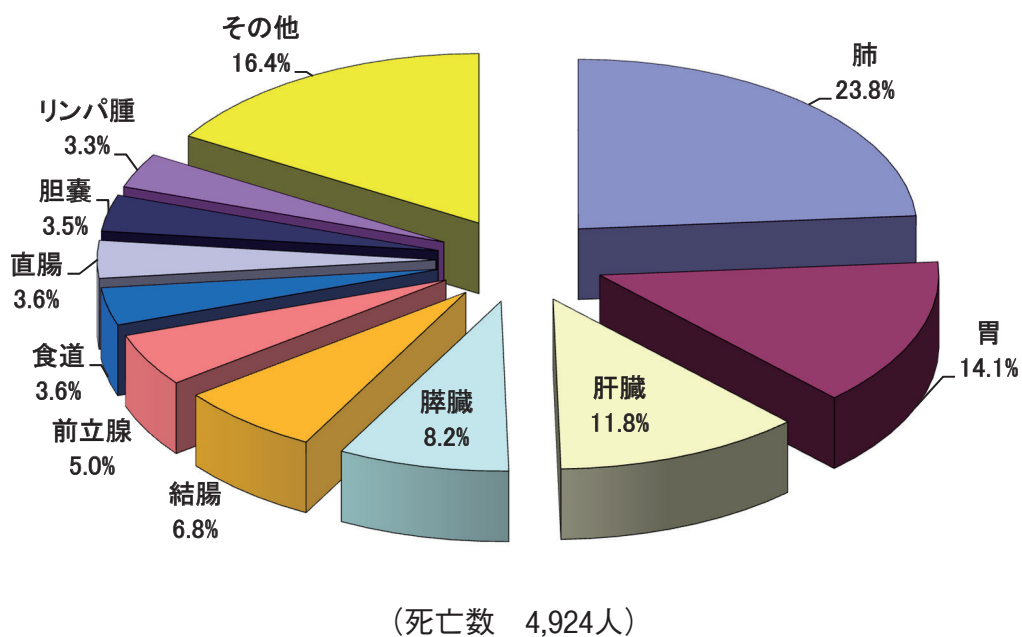


図 5-1 悪性腫瘍死亡の部位別割合 (男性、2014年)

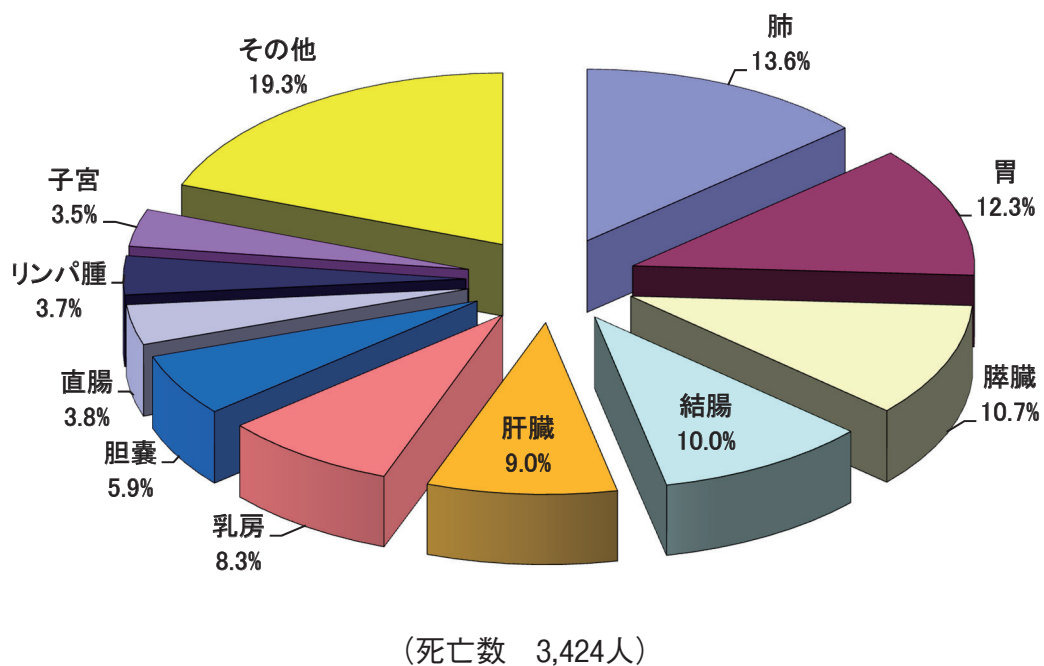


図 5-2 悪性腫瘍死亡の部位別割合 (女性、2014年)

表 5-1 悪性腫瘍の部位別死亡者数・死亡割合（男性、2014年）

	死亡数	割合 (%)
肺	1,170	23.8
胃	694	14.1
肝 臓	580	11.8
膵 臓	402	8.2
結 腸	337	6.8
前 立 腺	248	5.0
食 道	176	3.6
直 腸	176	3.6
胆嚢・胆管	171	3.5
リンパ腫 *	162	3.3
そ の 他	808	16.4
大腸（再掲）	513	10.4
合 計	4,924	100.0

表 5-2 悪性腫瘍の部位別死亡者数・死亡割合（女性、2014年）

	死亡数	割合 (%)
肺	465	13.6
胃	421	12.3
膵 臓	367	10.7
結 腸	344	10.0
肝 臓	307	9.0
乳 房	283	8.3
胆嚢・胆管	201	5.9
直 腸	129	3.8
リンパ腫 *	125	3.7
子 宮	120	3.5
そ の 他	662	19.3
大腸（再掲）	473	13.8
合 計	3,424	100.0

* 白血病は含まない

6. 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数・死亡率 (人口10万対、1985年日本モデル人口で調整)

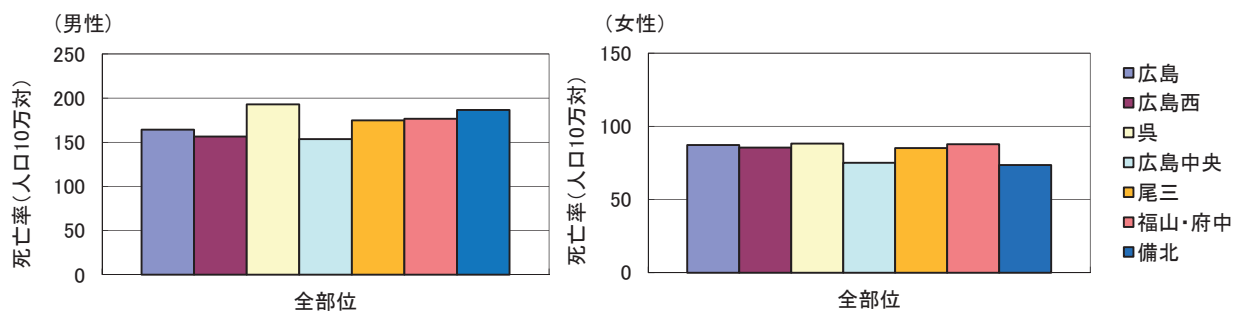


図 6-1 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍全部位の死亡率

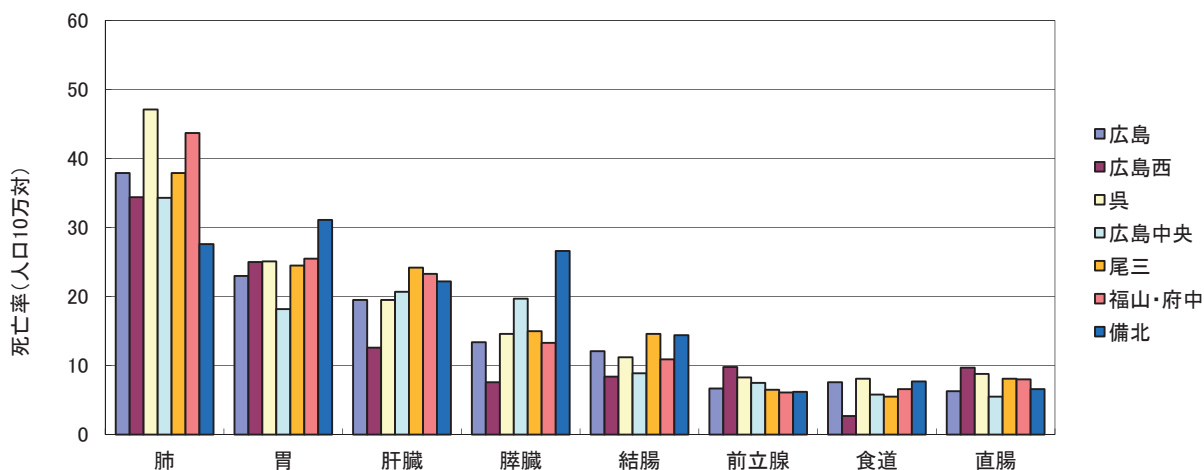


図 6-2 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の死亡率 (男性、2014年)

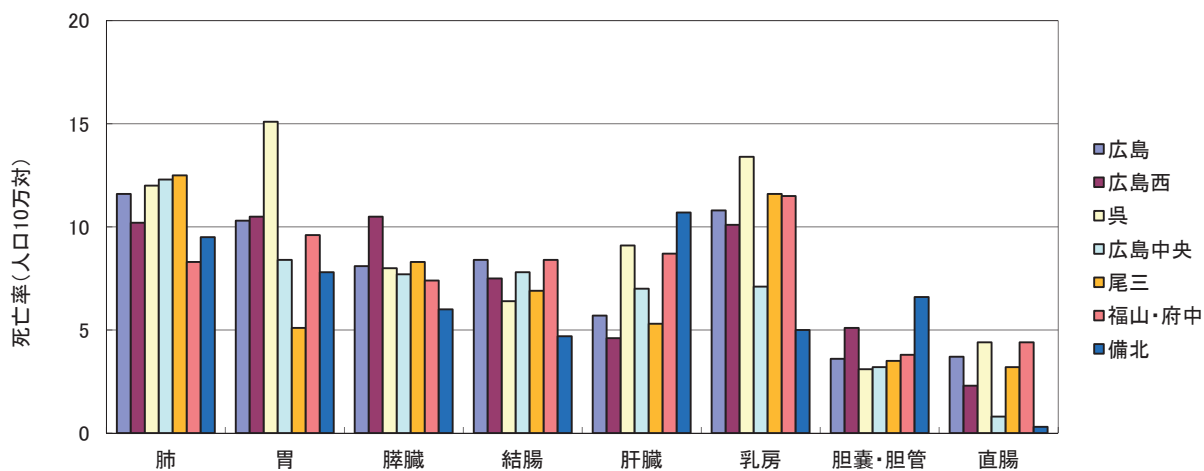


図 6-3 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の死亡率 (女性、2014年)

表6-1 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数・死亡率 男性（人口10万対）

医療圏 部 位	死 亡 数（死亡率）						
	広 島	広島西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
肺	470 (37.9)	60 (34.4)	148 (47.1)	76 (34.3)	135 (37.9)	237 (43.7)	44 (27.6)
胃	281 (23.0)	36 (25.0)	79 (25.1)	42 (18.2)	78 (24.5)	142 (25.5)	36 (31.1)
肝 臓	236 (19.5)	18 (12.6)	59 (19.5)	46 (20.7)	77 (24.2)	117 (23.3)	27 (22.2)
膵 臓	156 (13.4)	11 (7.6)	46 (14.6)	40 (19.7)	48 (15.0)	70 (13.3)	31 (26.6)
結 腸	149 (12.1)	12 (8.4)	37 (11.2)	18 (8.9)	44 (14.6)	57 (10.9)	20 (14.4)
前 立 腺	99 (6.7)	16 (9.8)	32 (8.3)	20 (7.5)	30 (6.5)	40 (6.1)	11 (6.2)
食 道	84 (7.6)	4 (2.7)	24 (8.1)	10 (5.8)	13 (5.5)	32 (6.6)	9 (7.7)
直 腸	68 (6.3)	11 (9.7)	18 (8.8)	11 (5.5)	22 (8.1)	39 (8.0)	7 (6.6)
そ の 他	462 (37.7)	66 (46.3)	161 (50.2)	68 (33.0)	123 (38.6)	210 (39.2)	51 (44.2)
大 腸 (再掲)	217 (18.4)	23 (18.2)	55 (20.0)	29 (14.4)	66 (22.7)	96 (18.9)	27 (20.9)
合 計	2,005 (164.2)	234 (156.4)	604 (192.9)	331 (153.5)	570 (174.8)	944 (176.6)	236 (186.6)

表6-2 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数・死亡率 女性（人口10万対）

医療圏 部 位	死 亡 数（死亡率）						
	広 島	広島西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
肺	209 (11.6)	24 (10.2)	47 (12.0)	40 (12.3)	49 (12.5)	72 (8.3)	24 (9.5)
胃	168 (10.3)	22 (10.5)	72 (15.1)	23 (8.4)	38 (5.1)	78 (9.6)	20 (7.8)
膵 臓	156 (8.1)	25 (10.5)	43 (8.0)	29 (7.7)	45 (8.3)	55 (7.4)	14 (6.0)
結 腸	159 (8.4)	13 (7.5)	34 (6.4)	25 (7.8)	35 (6.9)	59 (8.4)	19 (4.7)
肝 臓	119 (5.7)	16 (4.6)	41 (9.1)	21 (7.0)	29 (5.3)	62 (8.7)	19 (10.7)
乳 房	137 (10.8)	16 (10.1)	29 (13.4)	19 (7.1)	28 (11.6)	51 (11.5)	3 (5.0)
胆嚢・胆管	75 (3.6)	13 (5.1)	18 (3.1)	14 (3.2)	25 (3.5)	38 (3.8)	18 (6.6)
直 腸	59 (3.7)	6 (2.3)	14 (4.4)	3 (0.8)	16 (3.2)	30 (4.4)	1 (0.3)
そ の 他	390 (24.8)	43 (24.7)	75 (16.9)	53 (20.8)	125 (28.8)	166 (25.6)	55 (23.0)
大 腸 (再掲)	218 (12.2)	19 (9.8)	48 (10.7)	28 (8.6)	51 (10.1)	89 (12.8)	20 (5.0)
合 計	1,472 (87.2)	178 (85.5)	373 (88.2)	227 (75.1)	390 (85.1)	611 (87.8)	173 (73.5)

注) 死亡率は人口10万対、1985年日本モデル人口で調整

7. (参考) 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数・死亡率（人口10万対）

表7-1 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数・死亡率（男性、2014年）

	全部位		肺		胃		肝 臓	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	4,901	170.4	1,162	39.2	693	24.1	579	20.5
全 国	218,397	168.9	52,505	39.7	31,483	24.1	19,208	15.0

	膵 臓		結 腸		前立腺		食 道	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	399	14.4	335	11.7	247	- *	175	6.7
全 国	16,411	13.3	16,478	12.8	11,507	7.3	9,629	8.0

* 広島県の前立腺がん死亡率は2017年12月時点で未発表

	直 腸	
	死亡数	死亡率
広島県	176	7.0
全 国	9,699	8.2

表7-2 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数・死亡率（女性、2014年）

	全部位		肺		胃		膵 臓	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	3,394	86.8	460	11.0	417	10.2	365	8.3
全 国	149,706	89.4	20,891	11.4	16,420	9.0	15,305	8.5

	結 腸		肝 臓		乳 房		胆嚢・胆管	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	340	8.1	303	6.7	281	10.4	197	3.9
全 国	16,819	8.8	10,335	5.1	13,240	11.8	9,065	4.0

	直 腸	
	死亡数	死亡率
広島県	129	3.5
全 国	5,489	3.5

資料) 人口動態統計

注) 死亡率は人口10万対、1985年日本モデル人口で調整

8. (参考) 悪性腫瘍の主要部位別登録数・登録割合の経年変化 (1993～2014年)

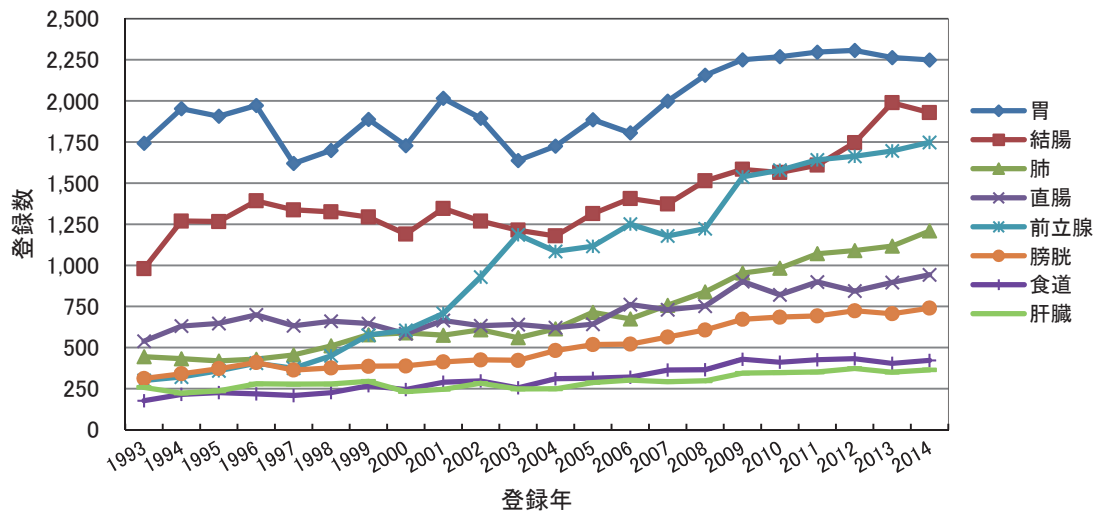


図 8-1 悪性腫瘍の主要部位別登録数の経年変化 (男性)

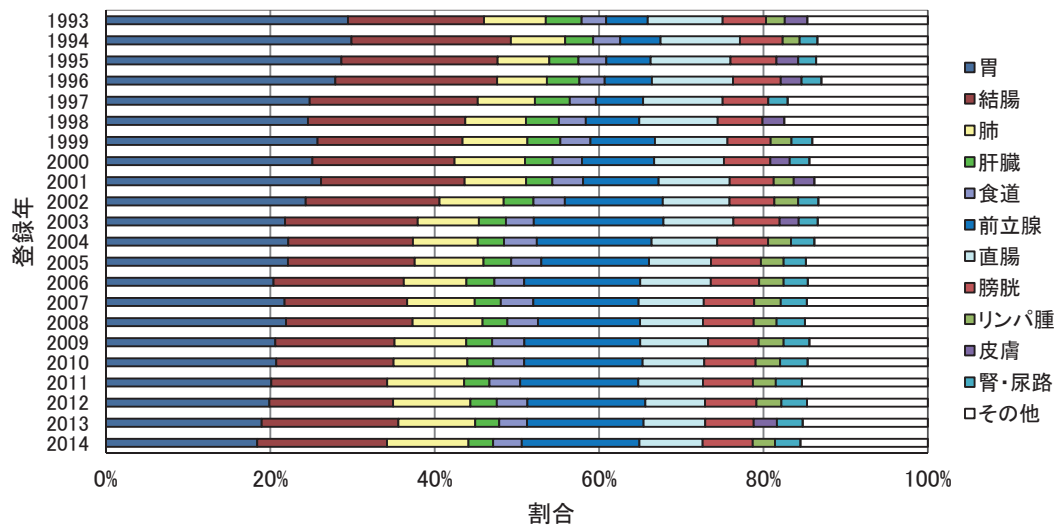


図 8-2 悪性腫瘍の主要部位別登録数の割合の経年変化 (男性)

表 8-1 悪性腫瘍の主要部位別登録数と割合（男性、1993～2014年）

	胃	結腸	肺	肝臓	食道	前立腺	直腸	膀胱	リンパ腫	皮膚	腎・尿路	その他	合計
1993	1,743 (29.4)	980 (16.6)	444 (7.5)	258 (4.4)	177 (3.0)	300 (5.1)	539 (9.1)	312 (5.3)	135 (2.3)	163 (2.8)	—	868 (14.7)	5,919 (100.0)
1994	1,953 (29.9)	1,269 (19.4)	432 (6.6)	223 (3.4)	215 (3.3)	321 (4.9)	631 (9.6)	341 (5.2)	135 (2.1)	—	141 (2.2)	879 (13.4)	6,540 (100.0)
1995	1,907 (28.6)	1,266 (19.0)	418 (6.3)	236 (3.5)	226 (3.4)	359 (5.4)	647 (9.7)	372 (5.6)	—	177 (2.7)	145 (2.2)	905 (13.6)	6,658 (100.0)
1996	1,972 (27.9)	1,392 (19.7)	429 (6.1)	279 (3.9)	218 (3.1)	405 (5.7)	699 (9.9)	409 (5.8)	—	179 (2.5)	171 (2.4)	916 (13.0)	7,069 (100.0)
1997	1,620 (24.8)	1,337 (20.5)	455 (7.0)	277 (4.2)	208 (3.2)	375 (5.7)	633 (9.7)	363 (5.6)	—	—	154 (2.4)	1,115 (17.1)	6,537 (100.0)
1998	1,699 (24.6)	1,325 (19.2)	510 (7.4)	278 (4.0)	226 (3.3)	450 (6.5)	660 (9.5)	376 (5.4)	—	183 (2.6)	—	1,209 (17.5)	6,916 (100.0)
1999	1,888 (25.7)	1,294 (17.6)	578 (7.9)	295 (4.0)	268 (3.7)	576 (7.9)	646 (8.8)	386 (5.3)	186 (2.5)	—	186 (2.5)	1,031 (14.1)	7,334 (100.0)
2000	1,728 (25.1)	1,190 (17.3)	589 (8.6)	232 (3.4)	245 (3.6)	605 (8.8)	584 (8.5)	388 (5.6)	—	163 (2.4)	164 (2.4)	992 (14.4)	6,880 (100.0)
2001	2,016 (26.2)	1,346 (17.5)	575 (7.5)	246 (3.2)	289 (3.8)	708 (9.2)	665 (8.6)	413 (5.4)	187 (2.4)	194 (2.5)	—	1,064 (13.8)	7,703 (100.0)
2002	1,895 (24.3)	1,269 (16.3)	608 (7.8)	283 (3.6)	297 (3.8)	929 (11.9)	633 (8.1)	425 (5.5)	227 (2.9)	—	191 (2.4)	1,039 (13.3)	7,796 (100.0)
2003	1,638 (21.8)	1,214 (16.1)	560 (7.4)	248 (3.3)	255 (3.4)	1,186 (15.8)	640 (8.5)	422 (5.6)	—	175 (2.3)	174 (2.3)	1,008 (13.4)	7,520 (100.0)
2004	1,725 (22.2)	1,179 (15.2)	614 (7.9)	249 (3.2)	310 (4.0)	1,085 (14.0)	621 (8.0)	482 (6.2)	216 (2.8)	—	222 (2.9)	1,074 (13.8)	7,777 (100.0)
2005	1,886 (22.1)	1,314 (15.4)	714 (8.4)	287 (3.4)	313 (3.7)	1,116 (13.1)	642 (7.5)	518 (6.1)	236 (2.8)	—	230 (2.7)	1,265 (14.8)	8,521 (100.0)
2006	1,806 (20.4)	1,406 (15.9)	674 (7.6)	302 (3.4)	320 (3.6)	1,251 (14.1)	762 (8.6)	521 (5.9)	264 (3.0)	—	261 (2.9)	1,294 (14.6)	8,861 (100.0)
2007	1,999 (21.7)	1,373 (14.9)	757 (8.2)	292 (3.2)	363 (3.9)	1,179 (12.8)	730 (7.9)	564 (6.1)	298 (3.2)	—	291 (3.2)	1,356 (14.7)	9,202 (100.0)
2008	2,156 (21.9)	1,514 (15.4)	838 (8.5)	298 (3.0)	365 (3.7)	1,223 (12.4)	752 (7.6)	607 (6.2)	274 (2.8)	—	340 (3.5)	1,472 (15.0)	9,839 (100.0)
2009	2,250 (20.6)	1,584 (14.5)	953 (8.7)	344 (3.1)	429 (3.9)	1,538 (14.1)	902 (8.3)	672 (6.2)	333 (3.0)	—	342 (3.1)	1,574 (14.4)	10,921 (100.0)
2010	2,269 (20.7)	1,565 (14.3)	983 (9.0)	347 (3.2)	411 (3.8)	1,579 (14.4)	821 (7.5)	685 (6.3)	327 (3.0)	—	366 (3.3)	1,603 (14.6)	10,956 (100.0)
2011	2,297 (20.1)	1,609 (14.1)	1,071 (9.4)	351 (3.1)	426 (3.7)	1,642 (14.4)	899 (7.9)	692 (6.1)	318 (2.8)	—	363 (3.2)	1,751 (15.3)	11,419 (100.0)
2012	2,307 (19.9)	1,746 (15.1)	1,090 (9.4)	373 (3.2)	432 (3.7)	1,663 (14.3)	844 (7.3)	724 (6.2)	352 (3.0)	—	362 (3.1)	1,706 (14.7)	11,599 (100.0)
2013	2,264 (18.9)	1,989 (16.6)	1,117 (9.3)	350 (2.9)	404 (3.4)	1,696 (14.2)	896 (7.5)	706 (5.9)	—	336 (2.8)	377 (3.2)	1,820 (15.2)	11,955 (100.0)
2014	2,249 (18.4)	1,929 (15.8)	1,209 (9.9)	364 (3.0)	422 (3.5)	1,748 (14.3)	943 (7.7)	740 (6.1)	334 (2.7)	—	383 (3.1)	1,899 (15.5)	12,220 (100.0)

上位10部位について集計した。「—」の登録数はその他に含まれる。

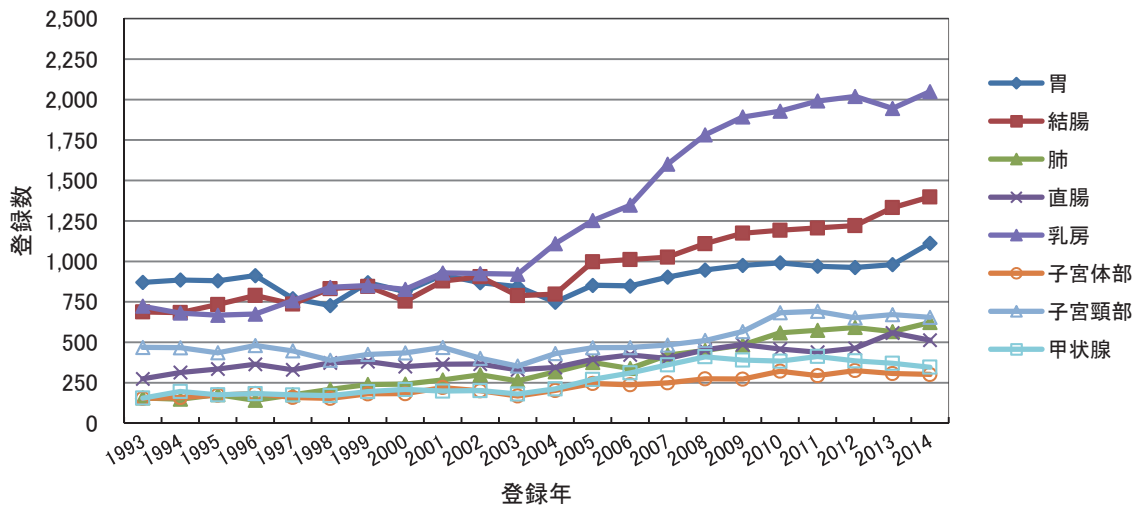


図 8 - 3 悪性腫瘍の主要部位別登録数の経年変化（女性）

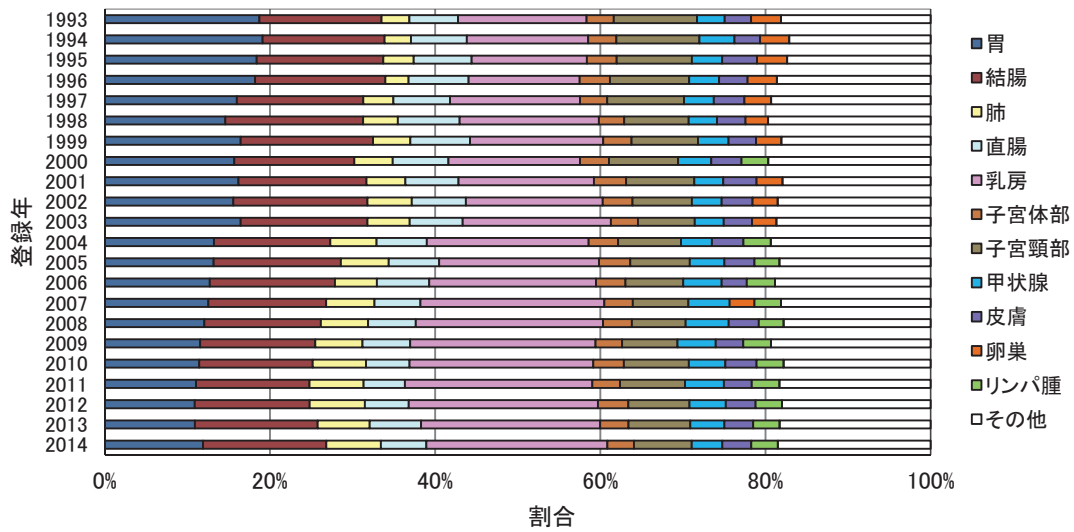


図 8 - 4 悪性腫瘍の主要部位別登録数の割合の経年変化（女性）

表 8-2 悪性腫瘍の主要部位別登録数と割合（女性、1993～2014年）

	胃	結腸	肺	直腸	乳房	子宮体部	子宮頸部	甲状腺	皮膚	卵巣	リンパ腫	その他	合計
1993	870 (18.7)	687 (14.8)	156 (3.4)	274 (5.9)	723 (15.6)	153 (3.3)	468 (10.1)	155 (3.3)	149 (3.2)	168 (3.6)	—	842 (18.1)	4,645 (100.0)
1994	885 (19.1)	683 (14.8)	148 (3.2)	313 (6.8)	680 (14.7)	158 (3.4)	466 (10.1)	196 (4.2)	144 (3.1)	163 (3.5)	—	793 (17.1)	4,629 (100.0)
1995	880 (18.4)	733 (15.3)	176 (3.7)	335 (7.0)	667 (13.9)	173 (3.6)	435 (9.1)	175 (3.7)	202 (4.2)	175 (3.7)	—	831 (17.4)	4,782 (100.0)
1996	912 (18.2)	789 (15.8)	141 (2.8)	364 (7.3)	674 (13.5)	183 (3.7)	480 (9.6)	182 (3.6)	173 (3.5)	177 (3.5)	—	933 (18.6)	5,008 (100.0)
1997	770 (16.0)	736 (15.3)	175 (3.6)	330 (6.9)	757 (15.7)	159 (3.3)	447 (9.3)	174 (3.6)	178 (3.7)	155 (3.2)	—	930 (19.3)	4,811 (100.0)
1998	727 (14.6)	831 (16.7)	209 (4.2)	373 (7.5)	839 (16.8)	153 (3.1)	389 (7.8)	170 (3.4)	172 (3.5)	136 (2.7)	—	981 (19.7)	4,980 (100.0)
1999	868 (16.5)	845 (16.0)	239 (4.5)	381 (7.2)	850 (16.1)	181 (3.4)	425 (8.1)	195 (3.7)	176 (3.3)	161 (3.1)	—	954 (18.1)	5,275 (100.0)
2000	814 (15.7)	754 (14.5)	241 (4.6)	350 (6.7)	827 (15.9)	182 (3.5)	434 (8.4)	208 (4.0)	190 (3.7)	—	168 (3.2)	1,021 (19.7)	5,189 (100.0)
2001	916 (16.2)	878 (15.5)	267 (4.7)	364 (6.4)	928 (16.4)	220 (3.9)	468 (8.3)	198 (3.5)	228 (4.0)	178 (3.1)	—	1,016 (17.9)	5,661 (100.0)
2002	868 (15.6)	905 (16.2)	299 (5.4)	365 (6.5)	924 (16.6)	200 (3.6)	401 (7.2)	201 (3.6)	209 (3.7)	169 (3.0)	—	1,033 (18.5)	5,574 (100.0)
2003	844 (16.4)	788 (15.4)	262 (5.1)	330 (6.4)	920 (17.9)	168 (3.3)	353 (6.9)	180 (3.5)	176 (3.4)	151 (2.9)	—	959 (18.7)	5,131 (100.0)
2004	748 (13.2)	797 (14.1)	317 (5.6)	344 (6.1)	1,109 (19.6)	202 (3.6)	430 (7.6)	212 (3.7)	216 (3.8)	—	187 (3.3)	1,096 (19.4)	5,658 (100.0)
2005	852 (13.2)	997 (15.4)	375 (5.8)	394 (6.1)	1,252 (19.4)	245 (3.8)	466 (7.2)	270 (4.2)	236 (3.6)	—	195 (3.0)	1,185 (18.3)	6,467 (100.0)
2006	848 (12.7)	1,011 (15.2)	338 (5.1)	422 (6.3)	1,347 (20.2)	237 (3.6)	467 (7.0)	310 (4.6)	203 (3.0)	—	227 (3.4)	1,258 (18.9)	6,668 (100.0)
2007	903 (12.6)	1,026 (14.3)	421 (5.9)	400 (5.6)	1,601 (22.3)	249 (3.5)	483 (6.7)	360 (5.0)	—	216 (3.0)	231 (3.2)	1,304 (18.1)	7,194 (100.0)
2008	947 (12.1)	1,109 (14.1)	449 (5.7)	453 (5.8)	1,782 (22.7)	274 (3.5)	511 (6.5)	410 (5.2)	285 (3.6)	—	236 (3.0)	1,400 (17.8)	7,856 (100.0)
2009	975 (11.6)	1,174 (13.9)	483 (5.7)	486 (5.8)	1,892 (22.4)	272 (3.2)	566 (6.7)	390 (4.6)	281 (3.3)	—	282 (3.3)	1,632 (19.4)	8,433 (100.0)
2010	991 (11.4)	1,192 (13.8)	558 (6.4)	458 (5.3)	1,928 (22.2)	321 (3.7)	682 (7.9)	383 (4.4)	327 (3.8)	—	284 (3.3)	1,544 (17.8)	8,668 (100.0)
2011	970 (11.1)	1,206 (13.7)	574 (6.5)	439 (5.0)	1,991 (22.7)	294 (3.4)	691 (7.9)	412 (4.7)	296 (3.4)	—	295 (3.4)	1,607 (18.3)	8,775 (100.0)
2012	962 (10.9)	1,221 (13.9)	591 (6.7)	463 (5.3)	2,019 (22.9)	325 (3.7)	651 (7.4)	385 (4.4)	319 (3.6)	—	285 (3.2)	1,586 (18.0)	8,807 (100.0)
2013	980 (10.9)	1,332 (14.8)	566 (6.3)	558 (6.2)	1,945 (21.7)	307 (3.4)	671 (7.5)	370 (4.1)	314 (3.5)	—	286 (3.2)	1,642 (18.3)	8,971 (100.0)
2014	1,112 (11.9)	1,398 (14.9)	622 (6.6)	513 (5.5)	2,049 (21.9)	301 (3.2)	654 (7.0)	346 (3.7)	327 (3.5)	—	302 (3.2)	1,730 (18.5)	9,354 (100.0)

上位10部位について集計した。「—」の登録数はその他に含まれる。